

薬事情報やまなし

一般社団法人 山梨県薬剤師会
薬事情報センター

- 薬事情報センターからのお知らせ 【P 1】
 - 小林製薬株式会社が販売した紅麹に関連した製品の摂取による健康被害の発生について
 - 2024年度公認スポーツファーマシスト認定プログラム受講者募集について
 - 日薬ニュース
 - 令和6年春の花粉飛散状況
 - 第109回薬剤師国家試験の結果について
 - 定期購読から
 - 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について

- 医療保険委員会からのお知らせ 【P 9】
 - 禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧
（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

- 医療安全性情報No. 206 【P 11】

薬事情報センターからのお知らせ

○小林製薬株式会社が販売した紅麴に関連した製品の摂取による健康被害の発生について

日本薬剤師会を通じて標記の件について連絡がありました。

小林製薬株式会社(以下、当該事業者)が販売した紅麴を含む製品を摂取したことにより、現時点では因果関係は不明であるものの腎疾患等の健康被害が発生したことが報告され、当該事業者をはじめとした複数の事業者による自主回収が行われております。さらに大阪市より当該事業者に対し回収命令が発出されています。

薬剤師・薬局・店舗販売業におかれましては、当該製品の販売を中止するとともに、当該製品の購入者へ、直ちに使用を中止し、使用による健康被害が発生している場合は医療機関を受診するようご説明をお願いいたします。

本件については、今後情報が逐次更新されることが想定されます。最新の情報を、小林製薬ホームページ等より入手し購入者及び国民に対して正確な情報提供に努めていただくようお願いいたします。

また、当該製品並びにその他のいわゆる「健康食品」等の使用によると疑われる健康被害事例を把握した場合には、管轄の保健所へお知らせいただくとともに、管轄の保健所による調査にご協力いただくようお願いいたします。

- ・ 小林製薬株式会社ホームページ

(<https://www.kobayashi.co.jp/>)

- ・ 消費者庁

(<https://www.caa.go.jp/>)

- ・ 紅麴を含む健康食品関係（令和6年3月～）（厚生労働省ホームページ）

厚生労働省ホームページ>政策について>分野別の政策一覧>健康・医療>食品>紅麴を含む健康食品関係（令和6年3月～）>健康被害情報

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/daietto/index.html)

○2024年度公認スポーツファーマシスト認定プログラム受講者募集について

公認スポーツファーマシストは、薬剤師の資格を有した方が、日本アンチ・ドーピング機構が定める所定の課程（アンチ・ドーピング規則に関する内容）修了後に認定される資格制度です。

スポーツにおけるドーピングを防止することを目的に、学生・アスリートを含めたスポーツ愛好家などに対してアンチ・ドーピングや薬に関する健康教育などの普及・啓発にご協力いただく活動です。日本アンチ・ドーピング機構より、2024年度公認スポーツファーマシスト認定プログラム受講者募集要項が公開されました。是非、ご参加ください。

募集要項

受講資格	基礎講習会の受講時点で薬剤師の資格を有している方。 ※年齢は問いません。
申込要件	公認スポーツファーマシスト認定プログラムはオンライン開催になります。 パソコンを所有し、メール受信・Webブラウザでのe-ラーニングの受講など、安定的なインターネット利用環境を有し、ご自身で操作できる方が対象となります。
受講申込	4月15日（月）12:00～4月25日（木）17:00 ホームページの受講申込フォームにて申し込み。
受講期間	8月 2日（金）12:00～8月22日（木）17:00
募集定員	2,000名
受講手続き	申込後は、お申込みいただいたメールアドレスにお申込みに関する自動返信メールが送付されます。 募集期間終了後、お申込み状況を確認のうえ、後日、スポーツファーマシスト認定業務センターより手続きの詳細（受講者決定）をご連絡致します。 ※ホームページにて連絡の進行状況をご確認ください。 ※定員に達した場合は抽選とさせていただきます。

※詳細につきましては、日本アンチ・ドーピング機構 スポーツファーマシストのページでご確認ください。

(<https://www.sp.playtruejapan.org/acquire/guide.html>)

○日薬ニュース

【第295号】

- ・令和6年度診療報酬改定等について
- ・日薬、一般用医薬品等「薬効分類別成分表」を改訂
- ・令和6年度能登半島地震被災会員への義援金にご協力を！
- ・第57回日薬学術大会（埼玉大会）一般演題受付開始！
- ・eお薬手帳3.0に「オンライン服薬指導」機能実装！

○令和6年春の花粉飛散状況

山梨県衛生環境研究所発表

観測場所：衛生環境研究所

甲府市富士見1-7-31

観測時間：午前9時～翌朝午前9時（累計24時間）

単位：1平方センチあたり

（ ）：令和5年（2023年）データ

観測月日	スギ花粉	ヒノキ花粉
初観測日：初めて花粉が0個以上観測した日	1月22日 (1月7日)	2月19日 (3月13日)
飛散開始日：2日連続で1個以上花粉を観測した最初の日	2月10日 (2月16日)	(3月14日)
飛散終了日：3日連続で0個が続いた翌日	(4月16日)	(5月12日)

・予測飛散数：4000個/cm²

観測月日	スギ花粉	ヒノキ花粉	観測月日	スギ花粉	ヒノキ花粉
2月1日	0.7	0	3月1日	20.6	0.2
2月2日	0	0	3月2日	5.6	0
2月3日	0	0	3月3日	5.6	0
2月4日	0	0	3月4日	6.5	0
2月5日	0	0	3月5日	3.2	0
2月6日	0	0	3月6日	3.7	0
2月7日	0	0	3月7日	18.5	0
2月8日	0	0	3月8日	17.4	0.9
2月9日	0.2	0	3月9日	2.3	0.2
2月10日	2.1	0	3月10日	10.9	0
2月11日	1.4	0	3月11日	69.9	0
2月12日	0.2	0	3月12日	9.3	0
2月13日	5.3	0	3月13日	4.4	0
2月14日	4.4	0	3月14日	13.4	0.2
2月15日	5.1	0	3月15日	62.0	0.9
2月16日	19.4	0	3月16日	88.4	0.9
2月17日	7.9	0	3月17日	116.7	3.9
2月18日	13.9	0	3月18日	32.4	0.7
2月19日	4.4	0.5	3月19日	24.5	2.8
2月20日	21.8	0.7	3月20日	5.3	0.9
2月21日	4.4	0	3月21日	3.9	0.5
2月22日	0.5	0	3月22日	6.7	2.5
2月23日	7.2	0	3月23日	1.4	0.5
2月24日	88.4	0	3月24日	0.7	0
2月25日	0.5	0	3月25日	0	0
2月26日	9.3	0	3月26日	5.3	2.5
2月27日	9.3	0	3月27日		
2月28日	4.2	0	3月28日		
2月29日	48.1	0	3月29日		
			3月30日		
			3月31日		

○第109回薬剤師国家試験の結果について

第109回薬剤師国家試験（令和6年2月17日、18日実施）の結果が、3月19日厚生労働省より発表されました。

試験結果は、受験者数13,585名のうち、合格者数は9,296名、合格率は68.43%となりました。

都道府県別合格者数のうち合格証書の山梨県送付者数は、68名となっています。

参考資料1

試験回次別合格者数の推移

令和6年3月19日
厚生労働省医薬局

試験回次	合 計			6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒			そ の 他		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
	名	名	%	名	名	%	名	名	%	名	名	%
97 (24年)	9,785	8,641	88.31	8,583	8,182	95.33	—	—	—	1,202	459	38.19
98 (25年)	11,288	8,929	79.10	9,661	8,221	85.09	896	605	67.52	731	103	14.09
99 (26年)	12,019	7,312	60.84	8,822	6,219	70.49	2,517	1,003	39.85	680	90	13.24
100 (27年)	14,316	9,044	63.17	8,446	6,136	72.65	5,260	2,794	53.12	610	114	18.69
101 (28年)	14,949	11,488	76.85	8,242	7,108	86.24	6,185	4,201	67.92	522	179	34.29
102 (29年)	13,243	9,479	71.58	8,291	7,052	85.06	4,515	2,295	50.83	437	132	30.21
103 (30年)	13,579	9,584	70.58	8,606	7,304	84.87	4,577	2,151	47.00	396	129	32.58
104 (31年)	14,376	10,194	70.91	9,508	8,129	85.50	4,527	1,950	43.07	341	115	33.72
105 (2年)	14,311	9,958	69.58	9,194	7,795	84.78	4,804	2,050	42.67	313	113	36.10
106 (3年)	14,031	9,634	68.66	8,711	7,452	85.55	5,035	2,079	41.29	285	103	36.14
107 (4年)	14,124	9,607	68.02	8,665	7,386	85.24	5,217	2,126	40.75	242	95	39.26
108 (5年)	13,915	9,602	69.00	8,548	7,254	84.86	5,146	2,267	44.05	221	81	36.65
109 (6年)	13,585	9,296	68.43	8,416	7,100	84.36	4,957	2,103	42.42	212	93	43.87

厚生労働省ホームページに詳細が掲載されています。

厚生労働省ホームページ>報道・広報>報道発表資料>報道発表資料2024年3月（*3月19日の項）>国家試験合格発表（速報）>第109回薬剤師国家試験の合格発表を行いました

(https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000199343_00011.html)

○定期購読から

薬事情報センターで定期購読している雑誌の目次を一部掲載したものです。
貸し出し、FAX、コピー等はできませんので、事務局にて閲覧をお願いします。



月刊薬事 2024 Vol.66No.4

【特集】病棟・外来でよくみる気になる
神経診療 Up to Date

- ・頭痛（三社神経を含む）、めまい
- ・疼痛、感覚障害
- ・意識障害、失神、けいれん
- ・認知機能低下、高次脳機能障害 etc

◇振り返れば国試

- ・外来がん薬物療法の薬学管理、患者指導のポイントは？

◇つながる検査と薬

- ・化学療法施行後に腫瘍崩壊症候群を発症した造血器腫瘍患者



調剤と情報 2024 Vol.30No.4

【特集】服薬指導に+α

CKD患者へ寄り添う生活指導

◇明日からできる生活指導

- ・嗜好品、水分摂取、食事療法、口腔ケア、睡眠管理、便秘、ワクチン、OTC医薬品とサプリメント、腎代替療法患者へのケア

【今月の話題】

- ・令和6年度（2024年度）の厚生労働省薬剤師・薬局関係の予算について



薬局 2024 Vol.75No.3

【特集】微量元素みつけた

生理作用・疾患・くすりと食品にクローズアップ！

- ・ヒトのからだに微量元素が必要なワケ
- ・場面別！知っておきたい欠乏症とその予防・治療の方法
 - ・消化器疾患、肝疾患、腎疾患と透析患者、妊娠と授乳、静脈栄養時、経管栄養時、くすりによる欠乏
- ・ここにも、あそこにも！医薬品・食品の中の微量元素
 - ・経口鉄剤、比べてみました
 - ・微量元素をくすりとして用いる etc

○薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について

医療安全対策委員会では、標記事業の参加登録の推進を行っております。共有すべき事例2024年No. 1が公開されています。

日本医療機能評価機構ホームページからご覧いただけます。

(<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)

参加登録及び事例報告をお願いいたします。

共有すべき事例 2024年No. 1

事例1 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【一般用医薬品との重複】

事例	<p>【事例の詳細】 80歳代の女性患者に、整形外科からメチコバル錠500μg 1回1錠1日2回朝夕食後を含む複数の薬剤が30日分処方された。患者に一般用医薬品などの服用について確認したところ、関節痛を緩和するためにリョウシンJV錠を購入し服用していることがわかった。リョウシンJV錠は1日最大服用量3錠中にシアノコバラミンを1,500μg含有している。シアノコバラミンはメチコバル錠の有効成分であるメコバラミンと同じビタミンB₁₂であることから、念のため処方医に疑義照会を行った。その結果、メチコバル錠500μgは削除し、リョウシンJV錠を継続するよう回答があり、患者に説明した。</p> <p>【推定される要因】 患者は、処方医に一般用医薬品を服用していることを伝えていなかった。</p> <p>【薬局での取り組み】 一般用医薬品の服用の有無などの情報を、定期的に患者に確認する。日頃から、患者が話しやすい関係性を築いておく。</p>														
その他の情報	<table border="1" data-bbox="395 1144 1316 1458"> <tr> <td data-bbox="395 1144 587 1211">販売名</td> <td data-bbox="592 1144 948 1211">メチコバル錠250μg/500μg</td> <td data-bbox="952 1144 1316 1211">リョウシンJV錠</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1218 587 1252">医薬品分類</td> <td data-bbox="592 1218 948 1252">医療用医薬品</td> <td data-bbox="952 1218 1316 1252">一般用医薬品(第3類医薬品)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1258 587 1359">有効成分</td> <td data-bbox="592 1258 948 1359">1錠中メコバラミン(ビタミンB₁₂)250μg/500μg</td> <td data-bbox="952 1258 1316 1359">3錠(1日最大服用量)中にシアノコバラミン(ビタミンB₁₂)1,500μg 他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1366 587 1458">用法及び容量</td> <td data-bbox="592 1366 948 1458">通常、成人はメコバラミンとして1日1,500μgを3回に分けて経口投与する</td> <td data-bbox="952 1366 1316 1458">成人(15歳以上)1回2~3錠1日1回</td> </tr> </table> <p>(2023年12月11日現在)</p>			販売名	メチコバル錠250 μ g/500 μ g	リョウシンJV錠	医薬品分類	医療用医薬品	一般用医薬品(第3類医薬品)	有効成分	1錠中メコバラミン(ビタミンB ₁₂)250 μ g/500 μ g	3錠(1日最大服用量)中にシアノコバラミン(ビタミンB ₁₂)1,500 μ g 他	用法及び容量	通常、成人はメコバラミンとして1日1,500 μ gを3回に分けて経口投与する	成人(15歳以上)1回2~3錠1日1回
販売名	メチコバル錠250 μ g/500 μ g	リョウシンJV錠													
医薬品分類	医療用医薬品	一般用医薬品(第3類医薬品)													
有効成分	1錠中メコバラミン(ビタミンB ₁₂)250 μ g/500 μ g	3錠(1日最大服用量)中にシアノコバラミン(ビタミンB ₁₂)1,500 μ g 他													
用法及び容量	通常、成人はメコバラミンとして1日1,500 μ gを3回に分けて経口投与する	成人(15歳以上)1回2~3錠1日1回													
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師が患者から要指導・一般用医薬品や健康食品、サプリメントの服用に関する情報を聴取し、処方された薬剤との重複や相互作用などの有無を確認することは重要である。 ・本事例は、患者が服用していた一般用医薬品と処方された薬剤の成分が重複していることに気づき、処方医に疑義照会を行った事例である。 ・水溶性ビタミンの過量服用により重篤な副作用が発現する可能性は低いですが、処方された薬剤と同類のビタミンを含有する薬剤を患者がすでに服用していることは、医師が治療薬を選択するうえで有用な情報になり得る。 ・要指導・一般用医薬品や健康食品、サプリメントの服用に関する情報は、お薬手帳に記載されていることが少ないため、患者から直接聴取する必要がある。薬剤師が情報を収集する意義を患者に理解してもらい、服用している要指導・一般用医薬品や健康食品、サプリメントをお薬手帳に記載することが望ましい。 														

事例2 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例

【処方医への不適切な情報提供（一般用医薬品との併用禁忌）】

事例	<p>【事例の詳細】</p> <p>患者にゾコーバ錠125mgが処方された。現在服用している薬剤がないか確認したところ、医療機関を受診する前に市販薬の新ルルAを服用したことを聴取した。薬剤師は、新ルルAに含まれる無水カフェインがゾコーバ錠125mgと併用禁忌であると考え、処方医に疑義照会し、ゾコーバ錠125mgが削除になった。</p> <p>【推定される要因】</p> <p>患者は市販薬を服用したことを処方医にも伝えていたが、処方医の確認漏れの可能性がある。</p> <p>【薬局での取り組み】</p> <p>患者から服用している薬剤の有無を聴取する。市販薬を服用している場合は商品名を聴取し、含まれる成分を確認する。</p>								
その他の情報	<p>ゾコーバ錠125mgの添付文書 2023年12月改訂（第10版）（一部抜粋）</p> <p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2. 2次の薬剤を投与中の患者：エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩</p> <p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="395 987 1324 1301"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン） エルゴメトリンマレイン酸塩 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタンM） ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩</td> <td>これらの薬剤の血中濃度上昇により、血管攣縮等の重篤な副作用が発現するおそれがある。</td> <td>本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。</td> </tr> </tbody> </table> <p>新ルル-A錠s/新ルルAゴールドDX_α/新ルルAゴールドDX細粒/新ルルAゴールドs（指定第2類医薬品）の添付文書 2023年1月改訂（一部抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="395 1447 815 1480"> <tr> <td>成分</td> <td>無水カフェイン 他</td> </tr> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン） エルゴメトリンマレイン酸塩 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタンM） ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩	これらの薬剤の血中濃度上昇により、血管攣縮等の重篤な副作用が発現するおそれがある。	本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。	成分	無水カフェイン 他
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子							
エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン） エルゴメトリンマレイン酸塩 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタンM） ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩	これらの薬剤の血中濃度上昇により、血管攣縮等の重篤な副作用が発現するおそれがある。	本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。							
成分	無水カフェイン 他								
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・本事例は、薬剤師が、ゾコーバ錠125mgの添付文書に記載されたクリアミン配合錠の一般的名称を見て、無水カフェインが併用禁忌であると誤認し、無水カフェインを含有する一般用医薬品とゾコーバ錠125mgの併用に関する誤った情報を処方医に提供した事例である。 ・クリアミン配合錠A1.0/S0.5は、ゾコーバ錠125mgとの併用によりエルゴタミンの血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。そのため、ゾコーバ錠125mgはクリアミン配合錠と併用禁忌であるが、無水カフェインとは併用禁忌ではない。 ・誤った情報を提供することにより、本来受けられるはずの必要な治療が受けられなくなることは、患者にとって不利益である。薬剤師は、薬剤に関する正しい情報を処方医に提供することが重要である。 ・医療用医薬品の添付文書の併用禁忌には該当する薬剤が一般的名称で記載されることがあり、配合剤の場合は併用禁忌に該当しない成分も併記されるため、誤認しないよう注意する必要がある。平素からインタビューフォームや医薬品リスク管理計画書（RMP）などを活用し、薬剤の特性や服薬に関する注意事項を理解しておくことが重要である。 								

	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業には、疑義照会の内容に誤りがある事例が複数報告されており、本事例のように、報告した薬局が処方医へ誤った情報提供を行ったことに気付いていない事例も散見される。 ・疑義照会や処方医へ情報提供を行う前に提供する情報が正しいか確認することや、行った後に提供した情報の適否を再検討する機会を設けるなど、疑義照会に関する手順を具体的に検討する必要がある。
--	--

事例3 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【漫然とした投与】

事例	<p>【事例の詳細】</p> <p>患者は、施設に入居する前からツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒（医療用）1回2.5g 1日1回就寝前を継続して服用していた。患者から、冬場に足がつることがあったが、気温が高くなってからは症状が出ていないことを聴取した。血液検査の結果、血清カリウム値が3.1 mEq/Lであり基準値以下であったこと、患者が90歳代であること、服薬が長期化していることを鑑み、服薬情報提供書を用いて主治医に頓服への用法変更を提案した。その結果、連日の服用は中止となり、症状が出現した時のみに服用することになった。</p> <p>【推定される要因】</p> <p>施設に入居する前から服用していた薬剤の処方が漫然と続いており、見直しを行うきっかけがなかった。</p> <p>【薬局での取り組み】</p> <p>継続して服用している薬剤について、患者の服用状況、薬剤の効果や副作用のモニタリングを行い、継続の必要性について定期的に検討し、服薬情報提供書などを用いて主治医に情報提供を行う。</p>		
その他の情報	<p>ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒（医療用）の添付文書 2023年12月改訂（第1版）（一部抜粋）</p> <p>3. 組成・性状</p> <p>3.1 組成</p> <table border="1" data-bbox="395 1196 1326 1301"> <tr> <td>有効成分</td> <td>本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。 日局カンゾウ…6.0g 日局シャクヤク…6.0g</td> </tr> </table> <p>4. 効能又は効果</p> <p>急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉・関節痛、胃痛、腹痛</p> <p>7. 用法及び用量に関連する注意</p> <p>本剤の使用にあたっては、治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。</p> <p>8. 重要な基本的注意</p> <p>8.2 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意すること。</p>	有効成分	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。 日局カンゾウ…6.0g 日局シャクヤク…6.0g
有効成分	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.5gを含有する。 日局カンゾウ…6.0g 日局シャクヤク…6.0g		
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、医療機関への入院、在宅療養、施設への入居など患者が療養する環境が変化する中で、受診する医療機関・医師が変更になるケースが多くなっている。患者の薬物療法を正しく引き継ぐには、薬剤情報を一元的・継続的に管理することが重要であり、薬剤師が果たす役割は大きい。 ・本事業には、本事例の他にも、薬剤を服用する必要性が乏しくなっているにもかかわらず、処方が漫然と繰り返されている事例が報告されている。薬剤師が患者の服薬状況、薬剤の効果や副作用のモニタリングを行い、継続の必要性について定期的に検討することは重要である。 ・今まで継続していた薬剤を減量、中止したり、頓服へ変更したりする場合は、体調の変化がないかなど、その後の患者の経過について確認する必要がある。 		

禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧

（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

甲府市

あきやま医院	東下条町 80-2
今井循環器呼吸器科	住吉 1-10-4
大久保内科呼吸器科クリニック	丸の内 1-19-18
おかだ内科クリニック	北口 2-9-12 ニシコ ー北口駅前ビル 2F
おさだクリニック	下飯田 2-4-6
小沢耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック	朝日 1-8-13
内科小児科小野医院	貢川 2-2-11
くぬぎクリニック	北口 1-1-8
甲府共立診療所	宝 1-10-5
こうふサザンクリニック	徳行 2-14-26
斉藤内科循環器科医院	国母 8-26-13
順聖クリニック	湯村 1-5-19
医療法人慈光会 甲府城南病院	上町 753-1
市立甲府病院	増坪町 366
住吉病院	住吉 4-10-32
心療内科たけうちクリニック	国母 7-5-17 サンラ イン甲府ビル 2A
塚原整形外科	丸の内 2-9-14
露木耳鼻咽喉科医院	中央 4-9-2
医療法人仁明会ながまつ医院	宮原町 88-1
東甲府医院	桜井町 299
ひろクリニック	中小河原 1-9-12
深澤内科クリニック	国母 5-19-18
ふじ内科クリニック	緑ヶ丘 1-4-16
藤原医院	塩部 4-15-16
古川内科・皮フ科	国母 1-4-8
望月クリニック	塩部 4-16-2
山梨県厚生連健康管理センター	飯田 1-1-26
山梨県立中央病院	富士見 1-1-1
湯村温泉病院	湯村 3-3-4
横田内科小児科医院	上石田 2-30-44
樂天堂内科整形外科	朝気 1-1-29

笛吹市

磯山医院	石和町四日市場 2031-106
一宮温泉病院	一宮町坪井 1745
弦間医院	一宮町末木 864-2
医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院	石和町四日市場 2031-25
境川診療所	境川町石橋 2207-1
三枝クリニック	石和町河内 37-2
清水内科クリニック	石和町駅前 6-2
しむら医院	石和町東高橋 131
医療法人康麗会笛吹中央病院	石和町四日市場 47-1
医療法人博友会 三科医院	春日居町桑戸 698-1
望月内科クリニック	御坂町井之上 819-1

山梨市

飯島医院	小原西 5
加納岩総合病院	上神内川 1309
坂の上クリニック	東後屋敷 986-8
山梨市立牧丘病院	牧丘町窪平 302-2

甲州市

池田内科小児科医院	勝沼町勝沼 2961
甲州市大藤診療所	塩山上栗生野 13-1
甲州市立勝沼病院	勝沼町勝沼 950
松里診療所	塩山三日市場 1982-1

韮崎市

いいのクリニック	本町 2-14-15
岩下内科医院	若宮 1-2-50 韮崎市 民交流センター3F
たのくらクリニック	藤井町南下条 338
韮崎市国民健康保険韮崎市立病院	本町 3-5-3

北杜市

中田医院 中国医学研究所	須玉町若神子 608
北杜市立白州診療所	白州町白須 1341
北杜市国保辺見診療所	明野町上手 1-12
武川診療所	武川町牧原 1371

甲斐市

くろだ小児科・耳鼻科	西八幡 1939-2
小山医院	島上条 492-1
敷島クリニック	中下条 246
清水内科循環器科医院	篠原 1429-1
たわら内科クリニック	西八幡 1191
中沢クリニック	竜王 3091-1
原口内科・腎クリニック	篠原 2975-1
ふたば内科消化器科医院	龍地 2795-10
内科・呼吸器内科 保坂クリニック	竜王新町 2298-6
竜王ファミリークリニック	富竹新田 1757-1

昭和町

あいのた内科消化器科クリニック	中西条 1481-2
風間内科医院	押越 916-1
昭和メディカルクリニック	飯喰 404-2
森川医院	河東中島 1903

中央市

きたむらクリニック	若宮 23-2
玉穂ふれあい診療所	成島 2439-1
西野内科医院	山之神 2389-1
若葉クリニック	浅利 1686-2

南アルプス市

ここの内科クリニック	桃園 1688-3
巨摩共立病院	市桃園 340
笹本クリニック	下宮地 433-1
白根なかざわクリニック	在家塚 52-6
白根徳洲会病院	西野 2294-2
まつざきクリニック	下宮地 624

富士川町

峡南医療センター企業団 富士川病院	鯉沢 340-1
----------------------	----------

身延町

身延町早川町国民健康保険 一部事務組合立飯富病院	飯富 1628
-----------------------------	---------

南部町

南部町国民健康保険診療所	南部 8050-1
--------------	-----------

市川三郷町

医療法人啓徹会市川メディ カルクリニック	高田 518-1
溝部医院	市川大門 1235

大月市

地方独立行政法人 大月市 立中央病院	大月町花咲 1225
稚枝子おおつきクリニック	大月 1-8-5
武者医院	大月 1-15-18

都留市

都留市立病院	つる 5-1-55
東桂メディカルクリニック	十日市場字名主目 958-1

上野原市

上野原市立病院	上野原 3504-3
---------	------------

富士吉田市

医療法人大田屋会 大田屋 クリニック	上吉田 5-8-3
医療法人和彦会 くわざわ クリニック	上吉田 2-13-2
新西原クリニック	上吉田 4259-2
高田内科クリニック	上吉田 4203-2
富士の森クリニック	上吉田 7-12-14
樂天堂整形外科	上吉田 2-5-1 富士急 ターミナルビル 5階

富士河口湖町

かわぐち湖ファミリークリ ニック	小立 4115-1
山梨赤十字病院	船津 6663-1

鳴沢村

なるさわクリニック	鳴沢村 2126-1
-----------	------------

※この一覧は、あくまでもニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関確認のための参考資料として使用してください。

※医療機関から発行された該当処方せんの備考欄には、保険適用の根拠として「ニコチン依存症管理料の算定に伴う処方である。」と必ず記載されています。

(平成18年6月1日付 保医発第0601001号 厚生労働省保険局医療課長通知、(2)の①に記載)

万が一記載がない場合には、必ず医療機関へ疑義照会が必要となりますので取扱いの徹底をお願いします。

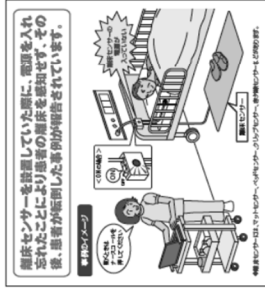
2023年に提供した医療安全情報

2023年1月～12月に医療安全情報No.194～No.205を提供しました。今一度ご確認ください。

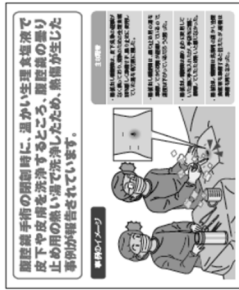
番号	タイトル
No.194	テスト肺使用による人工呼吸器回路の再接続忘れ
No.195	★照合の未実施による誤った患者への検査・処置
No.196	2022年に提供した医療安全情報
No.197	★離床センサーの電源入れ忘れ
No.198	★MRI検査室への磁性体(金属製品など)の持ち込み(第3報)
No.199	2022年に報告書で取り上げた医療安全情報
No.200	★腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷
No.201	シリンジポンプの単位の選択間違い
No.202	バッグ型キット型剤の隔壁の未開通
No.203	★小児の輸液の血管外漏出(第2報)
No.204	人工呼吸器の吸気側と呼気側の回路接続間違い
No.205	★別の患者の眼内レンズの挿入

★のタイトルについては、2023年12月31日までに再発・類似事例が報告されています。

No.197 離床センサーの電源入れ忘れ



No.200 腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷



2023年に提供した医療安全情報

◆2023年に報告された主な再発・類似事例です。

No.195 照合の未実施による誤った患者への検査・処置

看護師Aが外来処置室に患者Xを呼び入れたところ、患者Yが入ってきた。看護師Aは患者Yから診察券を受け取り、名乗ってもらった氏名と生年月日を診察券と照合し、注射指示伝票と照合しなかったため、患者Xではないことに気がなかった。看護師Aは患者Yに患者Xの関節リウマチ治療薬を注射した。その後、看護師Bが外来処置室に患者Yを呼んだところ、患者Yは帰宅していた。状況を確認すると、患者Xの薬劑を患者Yに投与していたことがわかった。

No.197 離床センサーの電源入れ忘れ

患者のADLに合わせて離床センサーを設置しており、患者は歩行が安定していたため、日中10時～16時は電源を切っていた。当日16時を過ぎても離床センサーの電源を入れ忘れていた。16時42分、看護師は、患者が病室前で転倒しているところを発見した。

No.200 腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷

腹腔鏡下中垂切除術の際、腹腔鏡の曇り止め用の生理食塩液をポットに入れていた。閉劇時に、創部を洗浄することにした。これまでにポット内の生理食塩液で洗浄しており、熱いと感じたことはなかったため、いつもと同様に生理食塩液を使用した。洗浄中に蒸気より生理食塩液の温度が高いことに気付いた。患者の胴部に表皮剥離を伴う熱傷が生じた。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として都台研協会の専門家の審判に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<https://www.med-safe.jp/>

※この情報の作印にあたり、作印における正確性については万全を期しておりますが、その内容を転載にわたり保証するものではありません。本情報の正確性の保証を願ったり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東京ビル
 電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
<https://www.med-safe.jp/>